

特集1

子どもたちを学校や地域・区役所で、 いろいろな方面から支える人がいます。

スクールサポートスタッフ(SSS)

～頼りになる先生の相棒～

先生たちは授業以外でも大忙しです。わかりやすい授業にするための教材を用意したり、学校行事の準備など、やることがたくさんあります。

そんな先生のサポートをするのが、スクールサポートスタッフです。学習プリント等の印刷や配布準備、保護者への連絡などを担当しています。

家庭児童相談員

～身近で相談できる人～

区役所の子育て支援室では、家庭児童相談員が心身の発達・性格行動・しつけ・非行・不登校など、18歳までのお子さんの子育てに関する不安や悩みなど、さまざまな相談に応じるほか、子育てに関する情報を提供しています。



特別支援教育サポーター

～それぞれの学びに寄り添う伴走者～

大阪市では障がいのある子どもも障がいのない子どもも「共に学び、共に育ち、共に生きる」ことができる仕組みであるインクルーシブ教育システムを進めています。

特別支援教育サポーターは、学校の先生と協力しながら、障がいのある子どもと障がいのない子どもがお互いの良いところを分かり合えるように手助けをします。

また、個別に支えが必要な子どもたちが、安心して勉強したり学校行事に積極的に参加できるよう、支援しています。



学校司書

～身近な本のアドバイザー～

子どもにとって学校図書館は大切な場所です。学校司書は、各学校の状況に合わせて先生と協力し、調べ学習や読書活動に役立つ本をそろえたり、読み聞かせや本の紹介をしたりして、学習や読書に活用できる、使いやすく楽しい学校図書館づくりに取り組んでいます。



登下校の子ども見守り隊

～子どもたちの登下校を見守るご近所さん～

子どもたちの登下校の時間に、「おはよう!」「げんき?」と学校近くで声をかける人を見かけたことはありませんか?

見守り隊では、地域のボランティアの方が、通学路で子どもたちを見守る活動をしています。

見守り隊の活動で毎日子どもたちと会っているうちに、自然と顔を覚えあったり、あいさつを交わしたりと、交流が生まれています。

区内14地域でさまざまな名称で登下校時間に活動しています。



ほかにも学生ボランティア、学びサポーター、理科補助員、生活指導支援員、部活動支援員など、さまざまなメンバーが活躍しています。

